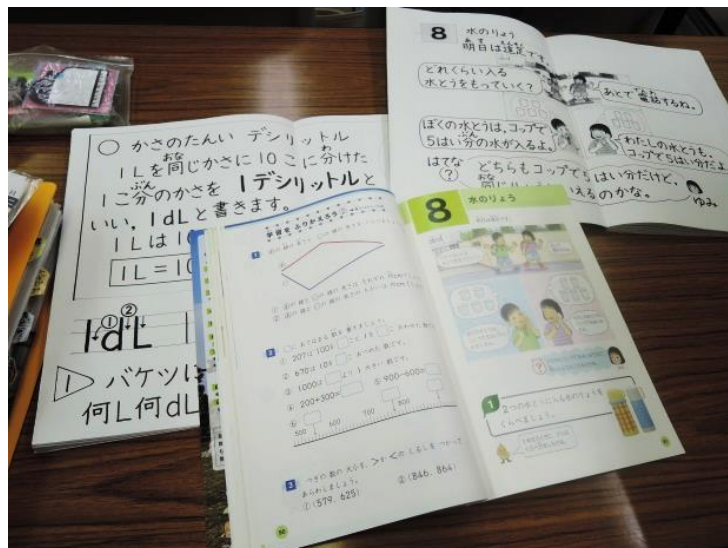


「目の代わり」としてトータルな援助を目指す
～神奈川県視覚障害援助赤十字奉仕団活動報告～

旭区にある神奈川県ライトセンターという施設を知っていますか？
この施設では日々、視覚障害の方に対する支援活動を行っています。
今回は、ライトセンター内で活動している“神奈川県視覚障害援助赤十字奉仕団”というボランティア団体を紹介いたします。

神奈川県視覚障害援助赤十字奉仕団、略して“視援奉”は6つの部会（点訳・誘導・録音・拡大写本・レクリエーション・在宅者援助）と4つのグループ（デジタル録音図書編集・スポーツ介助・パソコンサポート・幼児教材作製）に分かれて活動しています。

【拡大写本の見本】



【拡大写本の製作】



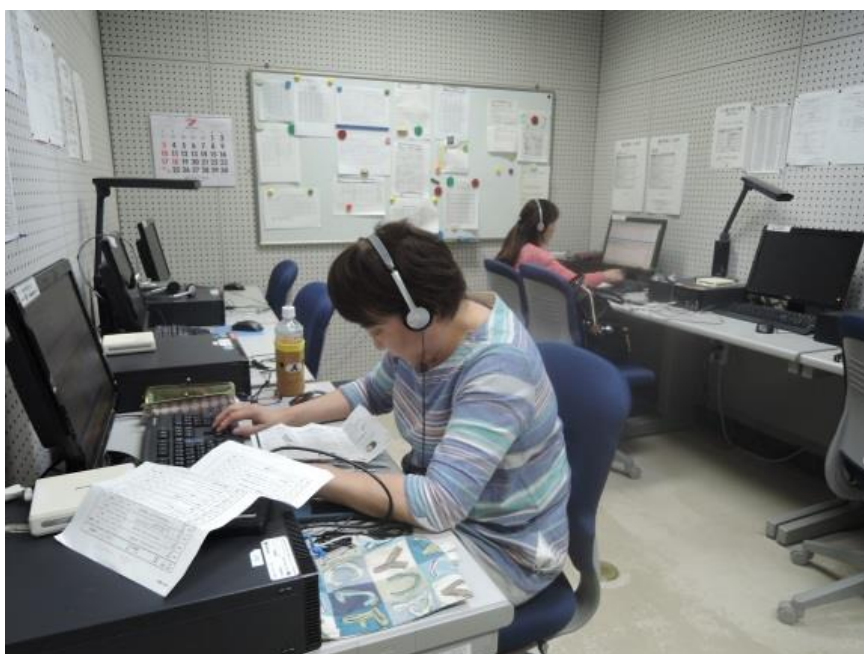
弱視の児童・生徒のために教科書・副教材・児童文庫を、利用者の見え方に合わせてパソコンや手書きで拡大しています。

【録音図書の製作】



活字の図書は、視覚障害者には読みにくい、または読むことができません。そこで、耳で聴いて読書できるように朗読し、その音声を録音しています。

【デイジー図書（視覚障害者向けデジタル録音図書）の製作】



録音図書にPC上で編集を加えてデイジー図書（視覚障害者向けデジタル録音図書）を製作しています。



【左：神奈川県視覚障害援助赤十字奉仕団 中村委員長 右：同 園田さん】

今回、ご紹介した視援奉の活動はほんの一部です。視援奉では約 700 名の団員が在籍しており、団員のライフスタイルに合わせて活動しています。

ライトセンターでは視覚障害援助ボランティア養成講座を行っていますので、興味のある方はぜひ神奈川県ライトセンターのホームページをご覧ください。